

# 本を「よむ」 本に出「あう」 Yomu Au

中学生向け図書館だより

2024年7月（第9号）発行：加須市立図書館



本の表紙を開けば、知らない世界が広がっている。  
そこでは、どこへでも行けるし、誰にでもなれる。  
いつのまにか主人公になりきり、笑って、泣いて、手に汗握って、  
本の世界にどっぷりはまっている。  
本を読む前の自分とはきつとなにかが変まっている。

さあ、あたらしい世界への扉を開こう！



## 中学生のみなさんにおくる 図書館員おすすめの12冊

### 『晴れた日は図書館へいこう』

緑川 聖司／著 ポプラ社

しおりは、憧れのいとこの美弥子さんが司書をしている雲峰市立図書館へ通うことが日課です。ある日しおりは、クラスメイトにおすすめしたい本があるはずの棚へ行きますが、なぜかそのシリーズの本はすべてなくなっていたのです。

行方不明の本に隠された秘密とは…。図書館で起こる本にまつわる事件を、しおりと仲間達が次々と解決していきます。



### 『無人島、研究と冒険、半分半分。』

川上 和人／著 東京書籍

絶海の孤島、南硫黄島。そこへ、貴重な動植物を調べるため、研究者たちが上陸しました。落石や崖くずれ、就寝中にテントに鳥が飛び込むなど、調査はハプニング続き。灼熱地獄で厳しい環境ですが、動物や昆虫、植物などの研究者たちは、新発見のため嬉々として調査に励みます。学者の研究ってこんなにハードなの?!と驚きの連続です。



## 『いつか君に出会ってほしい本』

田村 文<sup>あや</sup>／著 河出書房新社<sup>かわいでしょほうしんしゃ</sup>

あなたは読書感想文を書くとき、  
どういう本を選んで読んだらいいか  
悩<sup>なや</sup>んでいませんか。

本書は、報道機関で働く著者が学生  
時代に何度も読み返したお気に入りの  
本から、いつかみなさんに出会って  
ほしい158作品を、7つのテーマ  
に分けて紹介<sup>しょうかい</sup>して  
います。

あなたが読んで  
みたい1冊が見つ  
かるかもしれませ  
んよ。



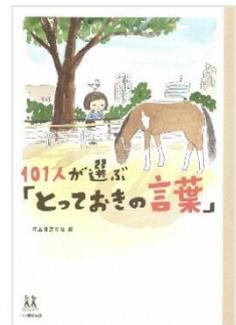
## 『101人が選ぶ』

### 「とっておきの言葉」

河出書房新社<sup>かわいでしょほうしんしゃ</sup>／編 河出書房新社<sup>かわいでしょほうしんしゃ</sup>

俳優、スポーツ選手、小説家、芸人、  
音楽家など、様々な分野で活躍<sup>かつやく</sup>して  
いる101人が、大切にしている多  
種多様な「とっておきの言葉」をその  
言葉を選んだ理由やその時の状<sup>じょうきょう</sup>況  
とともに紹介<sup>しょうかい</sup>しています。

それぞれの言葉の中には、何かの  
ヒントが隠<sup>かく</sup>されて  
いるかもしれませ  
ん。自分だけのとっ  
ておきの言葉を見  
つけてみませんか。



## 『リーゼ・マイトナー』

マリッサ・モス<sup>れいこ</sup>／著 中井川 玲子<sup>れいこ</sup>／訳  
岩波書店

核分裂<sup>かくぶんれつ</sup>がどのように起きるのか、初  
めて正しく解釈<sup>かいしゃく</sup>したオーストリア出  
身の物理学者リーゼ・マイトナー。

彼女<sup>かのじょ</sup>は、才能がありました。当時  
の性別や人種の差別から、地位も  
環境<sup>かんきょう</sup>も、存在<sup>あつ</sup>さえも不当に扱<sup>あつか</sup>われて  
しまいます。自分の発見により引き起  
こされてしまった原<sup>げん</sup>  
爆<sup>ばく</sup>という事の重大さを抱えながら、科学  
と向き合った彼女<sup>かのじょ</sup>の  
生涯<sup>しょうがい</sup>に触れてみてく  
ださい。



## 『おばあちゃんは猫で』

### テーブルを拭きながら言った』

金井 真紀<sup>ねこ</sup>／著 岩波書店

ちょっと変わったこの本の題名、  
フィンランドでは「解決策はひとつ  
ではない」という意味でこんな言い  
回しをするそうです。

この本では世界のことわざがイラ  
ストとその土地の文字<sup>しじょうかい</sup>で紹介されて  
います。ことわざの生まれた異国の  
生活や食べ物に思  
いをはせたり、全  
然読めないけれど  
カラフルなかわい  
い外国の文字を眺<sup>なが</sup>  
めたりして気楽に  
楽しめる本です。



## 『図解でわかる14歳からの 金融リテラシー』

社会応援ネットワーク／著 太田出版

金融リテラシーとは、日々の暮らしに直結しているお金についての知識や判断力のことです。

将来必要になるお金のこと、まだまだ先の話だと思いませんか。

本書は、「円安」や「投資」のしくみなど、これから役立つお金のやり取りについてが、わかりやすい図解で説明されています。

変化の激しい経済状況の中でも、かしこく生きていくため、金融リテラシーを高めてみませんか。



## 『葬送のお仕事』

井上 理津子／著 解放出版社

人が亡くなった後、お葬式をすることは頭に浮かんでも、実際何をするかはよく知らないという人も多いのでは？

遺体をきれいにし、搬送する、お葬式を行う、火葬するなど、葬送に関わる仕事は多く、中には損傷した遺体を修復するなど専門技術が必要なものもあります。

実際に働く人へのインタビューなどから、お葬式や関係する仕事について知ることができます。



## 『絵画をみる、絵画をなおす 保存修復の世界』

田口 かおり／著 偕成社

卵、酢、油…。これらは14世紀から15世紀頃、絵を描くときに使っていたものです。当時は、土や岩、動物の骨などと混ぜていたことから、今でも修復時に食物を使うことがあります。

著者は、美術作品の保存・修復をする「修復家」です。この本では、何百年も前に描かれた絵画の保存・修復方法や、様々な作品が大切に残されてきたことがよくわかります。



## 『なぜ、おかしの名前は パピプペポが多いのか？』

川原 繁人／著 ディスカヴァー・トゥエンティワン

ひらがなで半濁音の「°」がつくのは、「はひふへほ」だけなのはなぜでしょう？その答えや、題名にあるおかしに「パピプペポ」が多いわけ、強そうなキャラクターの名前のひみつなどが、小学生と言語学者の著者との対談形式で書かれています。

アニメに登場するいろいろなキャラクターの名前も、わたしたちが話す言葉と深いかかわりがあるのがわかりますよ！



## 『アフェイリア国とメイドと 最高のウソ』

ジェラルディン・マコックラン／著  
大谷 真弓／訳 小学館

アフェイリア国では2ヶ月も雨が降り続き、洪水が心配されていましたが、国の最高指導者マダム・スプリーマは何も対策をとらずに、国を逃げ出してしまう。

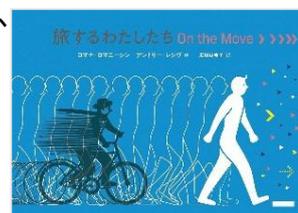
そんな中、屋敷で働くメイドのグロリアは、マダムの代役にされてしまい、保身ばかりの高官達などに振り回されてしまいます。自分がその立場だったらどうするか考えながら読んでみてください。



## 『旅するわたしたち』

ロマナ・ロマニーシン／作 アンドリー・レシヴ／作  
広松 由希子／訳 ブロンズ新社

400万年前、人間の祖先が2本足で歩き出してから今日に至るまで、人はいつの時代も旅をしてきました。最初は徒歩でしたが、動物や乗り物を使うようになると、旅の目的も多様化していきます。食料の調達や聖地への巡礼、他国との貿易や侵略、避難、そしてまだ見ぬ世界を目指す冒険のため…。人間の進化とともに歩んできた、移動の歴史を知ることができる絵本です。



貸出中の本や、ここにのっていない本も予約・リクエストできます。  
図書館には、中高生向けのコーナーや特集もありますのでぜひご利用ください。

★「こども司書講座」開催！★ 図書館で働く司書の仕事を体験してみませんか？  
日時：7月31日（水）、8月1日（木）、8日（木）10：00～15：00  
場所：加須図書館 対象：小学4年生～6年生、中学1年生～3年生  
※加須市内在住・在学で3日間全て参加できる人  
定員：小学生5人、中学生5人 ※申込先着順  
申込期間：令和6年7月12日（金）～24日（水）  
講座のくわしい内容は、図書館のWebサイトで確認してください。

### 【問い合わせ】

- |                |           |                 |
|----------------|-----------|-----------------|
| ● 加須図書館        | 中央2-4-17  | 電話：0480-61-8200 |
| ● 騎西図書館        | 根古屋633-10 | 電話：0480-73-3178 |
| ● 北川辺図書館       | 麦倉1473-1  | 電話：0280-62-4400 |
| ● 童謡のふる里おとね図書館 | 琴寄597-1   | 電話：0480-78-2211 |

☆図書館WebサイトURL：<https://www.library.kazo.saitama.jp/> こちらから ↑

